

令和5年12月20日

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保 育
事業所名	レイモンド長浜こども園
代表者氏名（管理者）	園 長 前田 英隆
法人名	社会福祉法人 檸檬会
定員（利用人数）	100名（92名）
施設・事業所所在地	〒526-0843 滋賀県長浜市南小足町324-3
T E L	0749-68-2480
F A X	0749-68-2481
電子メール	<a href="mailto:hidetaka.m@lemonkai.or.jp">hidetaka.m@lemonkai.or.jp</a>

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター
評価実施期間	令和5年12月5日と12月7日

## ○ 総合評価

社会福祉法人「檸檬会」は、北は関東から南は沖縄まで、全国に60を超える保育園・こども園・小規模保育所を運営している。さらに今年度からは、奈良県三郷町にあった学校法人跡地の一部を活用して、多様な個性が輝くボーダーレスコミュニティ「レイモンドヴィレッジ」を開村した。そこでは、障がい者も健常者も、性別や年代、国籍などにも関係なく自分らしく生きる権利が守られ、誰もが受容される社会ソーシャルインクルージョンを実現する活動が繰り返されている。現在、同法人は、滋賀県内に保育園6カ所、こども園5カ所、その他小規模保育所6カ所を運営し、さらに新年度からは、もう1か所こども園を開設する予定となっている。

レイモンド長浜こども園は、戦国武将「石田三成」の生誕の地として有名な長浜市石田町の近く、南小足町に立地している。三成は少年時代、大原観音寺で過ごしていたが、鷹狩りの帰りに立ち寄った豊臣秀吉に「三献の茶」を振る舞ったという逸話が今に伝わっている。また、南小足町の西方には、京都の桂離宮、大徳寺や南禅寺の庭園を造り、遠州流の大名茶人としても有名な小堀遠州の生誕の地が存在する。このように、長浜市の東部、伊吹山を臨むこの地域一帯は、自然豊かで歴史と文化を育んできた由緒ある土地であることを誇っている。当園は、こうした地域に、人々からの厚い要望と大きな期待を集めるなかで開設された。

当園は平成23年4月1日に保育園としてスタートし、その後、平成29年4月1日からはこども園として活動の幅を広げてきている。施設長は、本部の新しい法人理念とその活動に共鳴し、こども園の活動と法人の本質を融合しようと努力している。保護者アンケートの結果からは、こうした取組が子ども達や保護者からも厚い信頼を受けていることが伺える。

本園の教育・保育では、短期的な結果を求めるのではなく、全ての子どもたちに、生涯消えることのない『生きる力』である「3つの心」を育てることをめざしている。

### ① 「人・命を愛する心」

～人・命を慈しむ、思いやりの心を育むこと～

### ② 「自然と共に生きる心」

～環境にしなやかに対応し、自然とともに生きる心を育むこと～

### ③ 「想像（創造）する心」

～想像し創造する活動をとおして、未来を切り拓く力を育むこと～

さらに、次のような3つの保育方針を定め、「檸檬会」の保育理念・具体的な行動指針に沿いながら、教育実践・保育実践の質の向上を図っている。

① 子ども一人ひとりの育ちに寄り添い、それぞれの生きる力を育むこと。

② さまざまな体験を通して、しなやかな身体と豊かな感性を育むこと。

③ 人との「つながり」、社会との「つながり」を育むこと。

子どもたちや保護者にどの程度の満足感がみられるかを諮るため、今回実施した保護者アンケートの結果を顧みると、①お子さんは喜んでこども園に行きますか？の満足度は97%、②総合満足度は88%と、高い数値を示している。本園が提供しているサービスは、子ども達や保護者から高く評価されていると言える。数年来コロナ禍で活動が制限されてきたが、withコロナを前提にさらに前進しようとしているのが「レイモンド長浜こども園」である。

## ○ 特に評価の高い点

### 1 育児担当保育について

本園の乳児クラスでは、一人または少数の子どもたちに対し、いつも決まった保育者が食事の世話や着替えなどの生活面の援助を行う「育児担当保育」を取り入れている。同じ人に世話されることによって、特定の大人への愛着関係・信頼関係が芽生え、情緒が安定すると言われている。本園では、この育児担当の有効性を数多くの実践事例から学び、日々、応答的な関わりを大切にしたい育児担当保育を進めている。

### 2 子どもが主体的に過ごせるコーナー保育について

年齢別の各部屋には、ままごと、制作、絵本、積み木など、それぞれの遊びのスペースが設定され、その中で子どもたちは主体的に遊んでいる。各コーナーでは、子どもの目線がさえぎられるようコーナー間の配置位置にも配慮するなど、他の遊びに気をとられず集中して遊べるよう工夫がなされている。また、こうした自主性・主体性を尊重する保育の裏側には、子どもたちが多様で豊かな体験と出会えるよう、アート・デザイン・身体表現等、専門的な技能を持った職員の配備や研修の機会が準備されている。当園は、Child Communication Designによって創り出されたアート作品で満ちている。

### 3 本部支援の英語教室について

3～5歳児の各クラスでは、毎週1回、各年齢により時間帯に応じて英語教室が実施している。ネイティブ教師が各年齢の発達段階に合わせ音楽を流し、リズムカルな身体表現をとおして自然と英語の挨拶や会話文が身につくよう見事なプログラムが実施されている。3年間この英語教室で愉しく過ごし、ネイティブな発音に慣れ親しんだ子どもたちが、この園を卒園してゆく際には、素晴らしい展開が待っているであろうことが感じられる。

## ○ 改善を求められる点

### 1 中長期目標の策定について

長浜市の最新の人口推計データを眺めてみると、市内の年少人口は、2020年15,460人、2025年14,176人、2030年12,978人と、確実に減少傾向をたどっている。近年、頻繁に「保育施設の利用定員の設定と認可について」が議論されていることは頷けるといえる。今後、幼年人口はさらに減少し、長浜市周辺部の保育園から順に、定員に満たない保育園が出始めるであろう。そして、近い将来、この傾向は全市的に広がるであろうことが予測できる。

こうした少子高齢化問題に対処するためには、中長期目標の設定が欠かせない。単年度目標に留めず、経営戦略上の面のみならず、保育の質向上の面からも、一刻も早く中長期ビジョンを描かれることを期待したい。

### 2 子育て支援に対応した役割（子育て相談機関としての役割）の発揮について

この3年間、厳格なコロナ禍対策により、こども園と保護者との連携の機会は確実に減少し、保育・養護活動も縮小せざるを得なくなってきた。こうした一連の動きの陰には、子育てに悩み、孤立せざるを得ない状況に追い込まれている親や子どもが存在していることは紛れもない事実である。

2017年に改訂された「保育指針」では、「子育て支援」が明確に位置づけられた。つまり、保育サービスを実施・提供する施設では、預かっている園児の保育支援だけではなく、地域に住む親子をも支援する機関となることが求められたのである。

今後は、核家族化や地域のつながりの希薄化によって育児不安を抱えた人などを、こども園の専門性を生かして支援していく活動が、少しでも広く展開されることを期待したい。

### 3 地域・関係機関とのつながりの再生を求めて

令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症は5類感染症に位置づけられた。この処置により、従来の各種の規制も緩和され、保育分野でもコロナ禍前に戻る変化が求められている。特に地域に貢献する活動、小中高との連携や支援については、施設長のリーダーシップのもと全職員と新しい進め方を考え・共有しながら、実効性ある前進を特に期待したい。

### 第三者評価結果に対する事業者のコメント

新型コロナウイルス感染症の影響で、園の活動が大きく縮小化した3年間でした。今年5月になり、ようやくその制限も解かれ、今少しずつコロナ前の状況に戻ろうとしています。そういった中、今回の第三者評価については、大変重要な位置づけと考えています。子ども達が喜んで子ども園に行きますか？という満足度は、**97%**と大変高い評価を受けたことは、縮小してきた活動の中でもそれなりに評価をいただいたものとプラスに受け止めています。この結果を更に子ども達だけではなく、保護者そして地域にも満足していただけるような園の取り組みに職員一同一丸となって、日々の保育に取り組んでいきたいと考えています。

同時に、まだまだ至らない点もいくつか指摘を受けました。特に、子ども園としての役割としての相談機能や地域とのつながりを深めていくことについては、3年間の空白を埋めることにそれ以上の年月を必要するものと覚悟しています。地域とのつながりは、これからの子ども園の継続を考えた場合、とても大切なポイントです。今後、園開放や相談機能といった活動をさらに積極的に進めていきたいと考えています。